

# ICT 教材・機器 活用事例

学部	中学部	学年等	1年	教科	美術
授業名(单元名)	自分を飾ろう				
活用した場面	一斉学習	個別学習	協働学習		

## 1. 使用した ICT 教材・機器および使用した理由・方法

### ①iPad

標準 app の“写真”を使い、自分の写真にイラストを書き加える。

”AirDrop”の機能を生徒が操作し、共有用 iPad に転送する。

### ②Apple Pencil

生徒が使い、iPad で操作したり、イラストを描いたりする。

### ③電子黒板

共有のため、生徒の作品をモニターに映し出す。生徒が電子黒板のタッチペンを使い、発表を行う。

## 2. ICT 教材・機器を活用した活動場面

活動内容	指導上の留意点	準備物
○説明・準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の振り返り、iPad の設定</li> <li>・Apple Pencil の同期作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①iPad</li> <li>②Apple Pencil</li> <li>③電子黒板</li> </ul>
○制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPad を使って自分の写真を撮る。</li> <li>・画像にイラスト・文字などを加え、二次創作を加える。</li> <li>＊必ず顔がわかるようにする。</li> </ul>	
○発表・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板で発表(一人2分程度)</li> <li>・自己紹介を行う。</li> <li>氏名、好きな～(好きなこと、好きなもの、好きな色)、アピールポイント</li> <li>・ここがいいね!を見つける。</li> <li>・発表後にひとり当てて、ポイントに赤丸をする。</li> </ul>	

## 3. 活用の成果

- ・毎年初めに制作しているもちものカードの写真に加工を加えることで、よりオリジナリティーや自己表現がだせるようになった。
- ・自分の発表の後で、いいところを発表してもらうことで、お互いに新しい気づきが生まれ、授業の中での対話や授業後の会話を深めていききっかけになった。

- ・ iOS 標準 app である“写真”の編集機能を利用した活動だったので、わざわざお絵描きアプリを使わなくても制作ができることが分かった。簡単な仕様なので生徒にもわかりやすかった。
- ・ 端末の利用によって、紙に書くよりも自由度が高く、応用や修正がすぐにできる。一つ前に行った平面の課題では、色を選んだり、失敗することを不安に思ったりすることで描き始めるのに時間がかかった生徒が、早く制作にかかることができた。色を自由に選べたり、修正が簡単にできたり端末利用の利点がかうまく使えた。